

中央区民体育大会 テニス大会（ダブルス）注意事項

1. 競技方法 (1) 予選：6ゲーム先取マッチ 各ゲーム ノードバンテージゲーム
但し5-5の11ゲーム目は デュースゲーム
(2) 本戦：ベストオブ1タイブレークセットマッチ 各ゲーム セミアドバンテージゲーム
(3) 予選日にコート利用終了時刻を過ぎて 試合が継続中の場合 サスペンデッドゲームとし、
本戦実施日の8:00からゲームを再開します
2. 競技規則 本大会は、JTA テニスルールブック 最新版 及び 中央区テニス大会規定を適用します
試合中、フェイスマスクの着用は禁止します
3. ウォーミングアップ 予選：各自サービス4本のみ
本戦：初戦のみ5分 その後は各自サービス4本
4. 使用球 ダンロップ・フォート を大会本部で用意します
5. 審判 予選：セルフ・ジャッジとします 問題が生じた場合は、大会本部に相談してください
本戦：JTA公認審判員による ソロチェア・アンパイア
6. 大会進行 本大会はオーダーオブプレーを発表して進行します 選手の呼び出しはしません
自分の対戦票が掲示されたら、対戦票の自分のドロ番号を○印で囲みます
後から印を付ける方は◎印を付け、大会本部でスコアシート・ボールを受け取ってください
指定のコート付近で待機し 前の試合が終わり次第コートに入ること 試合開始時刻より
15分を過ぎてもコートに現れない場合、ノーショーの対象となります

試合開始時に必ずスコアシートで対戦相手を確認してください
ポイントが決まってから次のサービスを打つまでの時間は25秒です ポイントごとのペアとの
タッチも慎み、速やかな試合進行を心がけてください

大声を上げることは対戦相手への威嚇行為となります

試合結果の報告は勝者がスコアシートと対戦票を大会本部に速やかに提出してください
7. 表彰 優勝、準優勝、第三位

男子ベテラン45upの優勝ペアには中央区代表として Dunlop Tournament 2025
東京都予選への出場権を付与します
8. その他 (1) けが等の事故については、加入する保険の範囲で処置しますが、それ以上については
責任を負いかねますので、選手は自己管理を十分に行ってください
(2) 予選の予備日はありません 予選が雨天中止の場合はシード選手が本戦に
出場できます
(3) 予選最終戦の敗者は、本戦当日空きドロがあれば ラッキールーザーとして
出場できます

9. 天候 雨天でコートが使用できない場合 大会は中止となりますが、小雨でも試合を行うことがあります
大会当日の実施の可否はこちらで確認してください
中央区テニス連盟 Facebookページ
<https://www.facebook.com/cta.tokyo.jp>

10. 欠場等の連絡先

中央区テニス連盟事務局 mail@cta-tokyo.jp
中央区テニス大会本部 TEL 090-3052-7853
無断欠場は次回大会への参加をお断りすることもあります

ダブルス本戦 集合時刻

2024年9月22日(日) 中央区立 豊海テニス場 (砂入り人工芝)

試合種類	サインイン開始時刻	締切時刻
予選残り試合	7:50	8:00
一般 男子・本戦	8:45	9:00
ベテラン45up男子・本戦	8:45	9:00
一般 女子・本戦	10:45	11:00
ベテラン45up女子・本戦	10:45	11:00
ベテラン55up男子・本戦	13:45	14:00
ベテラン55up女子・本戦	13:45	14:00

予備日 9月29日(日) 同会場・同時刻

ラッキールーザー受付締切時刻は本戦出場選手 受付締切時刻の15分前とします

雨天等で、本戦日が中止の場合は 日程が変更になりますので事務局に確認をして下さい

本戦日程変更のお知らせは 中央区テニス連盟 ホームページに掲載します

<https://www.cta-tokyo.jp/>

メールでの問い合わせ先: mail@cta-tokyo.jp



公益財団法人

日本テニス協会

JAPAN TENNIS ASSOCIATION

試合におけるフェアプレイの推進

フェアプレイはスポーツの基本です。それは、①ルールを守る、②対戦相手をリスペクトし、③スポーツマンシップにのっとり正々堂々と戦うことを意味します。日本テニス協会は以下の2つのテーマに取り組んでいます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

1. セルフジャッジ5原則順守のお願い

コート内では時としてトラブルが起きます。その多くはセルフジャッジの試合におけるイン・アウトの判定や、スコアの食い違いなどに起因するものです。とりわけ、ジャッジコールが対戦相手に聞こえない場合やハンドシグナルが曖昧な場合のトラブルです。試合でのフェアプレイ向上のため、日本テニス協会は、セルフジャッジ5原則の順守を推進し、ジュニア選手、のみならず全てのテニスプレイヤーに対して、セルフジャッジ5原則順守の呼びかけを行っています。ジュニア選手の保護者や指導者の皆様にも、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップにのっとりフェアな試合が行なわれるよう、ご支援ください、よろしく申し上げます。

セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
- ② 「アウト」または「フォルト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- ⑤ コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない！

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。

2. ゲームの始めと終わりに「握手、挨拶、フェアプレイ」の心がけのお願い

プレイヤーは、試合の終了時に対戦相手と握手するだけでなく、試合前にも、相手をリスペクトして握手し挨拶することを心がけましょう！そして試合中は、スポーツマンシップにのっとり、自分のベストを尽くし、フェアプレイに徹しましょう。

